

三和の電動アルミガレージシャッター

静々動々



SB10D形 開閉機

取扱説明書



この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ

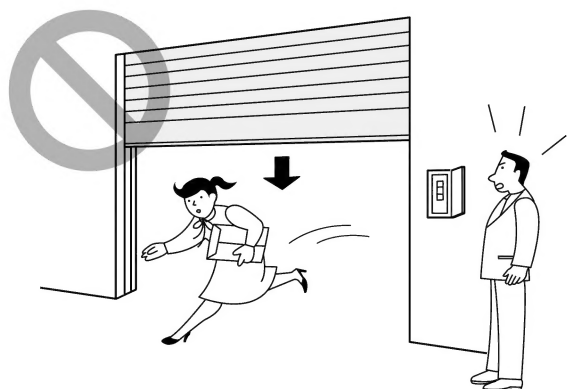
この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

ご使用上の注意

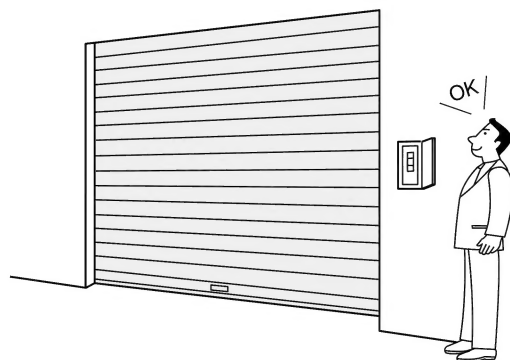


警告

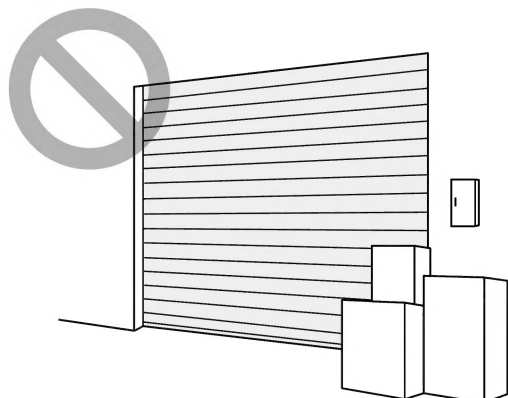
次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。



シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。



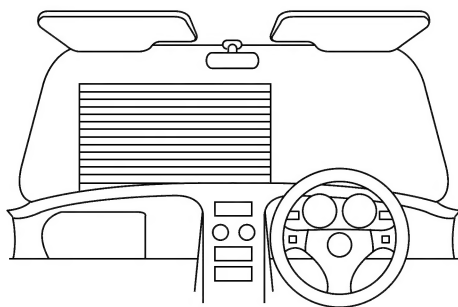
シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。



押ボタンスイッチの周りには、障害物となる物を置かないでください。緊急のとき操作できません。



シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。シャッターが動いて転落するおそれがあります。



シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があつたりした場合、はさまれるおそれがあります。



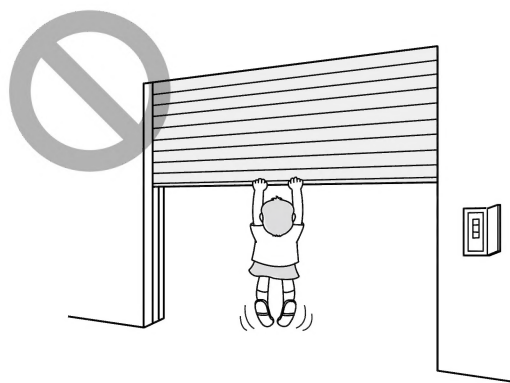
いたずら防止のため、お子様には操作させないでください。はさまれるおそれがあり、大変危険です。

ご使用上の注意

！ 警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

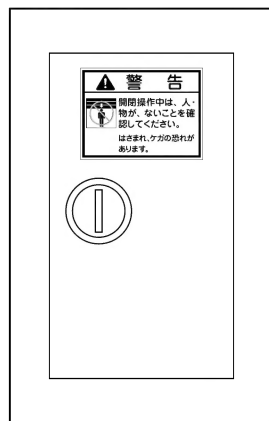
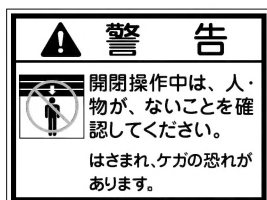


お尻のポケットには絶対にリモコンを入れないでください。
意図せぬ誤作動やリモコンが破損するおそれがあります。

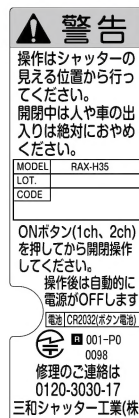


シャッターにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。

当商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」を
押ボタンスイッチのボックスフタ・リモコンの裏面に貼り付けています。
十分ご理解のうえご使用ください。



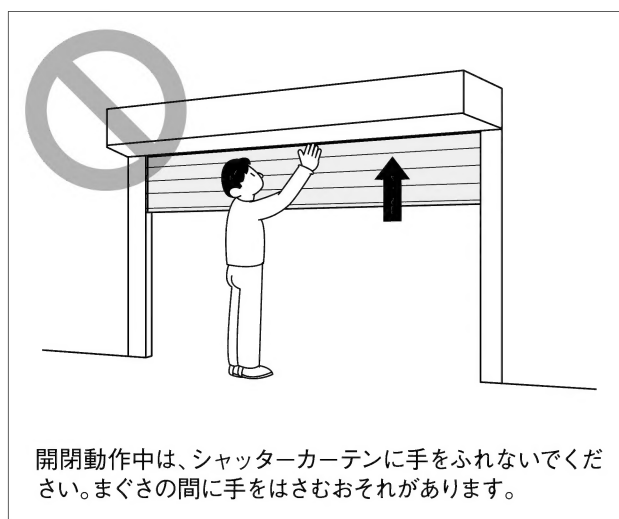
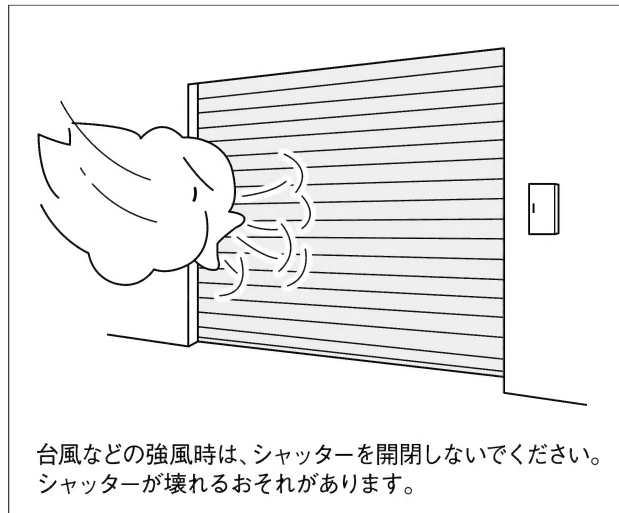
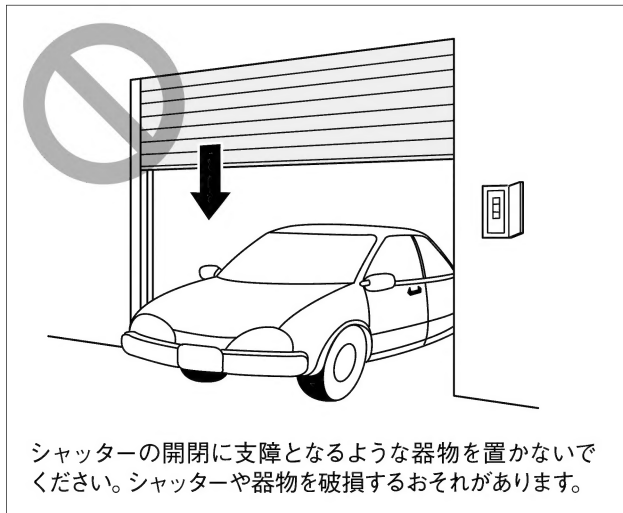
〈押ボタンスイッチボックス〉



〈リモコン〉

ご使用上の注意

！ 注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性あります。



●停電時の操作

⚠ 警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待って、通常の操作を行ってください。やむをえず手動で操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

- 高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
- 点検口を開けるときの、チェーンが落下してきて頭に当たったり（チェーン式の場合）、ほこりが落ちてきて目に入ったりすることがあります。気を付けて開けてください。
- シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
- 操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前にシャッターの電源を切ってください。

お願い

- チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
- 操作用具（チェーンまたはハンドル）によりシャッターを開放するときは、巻き上げ過ぎないようにしてください。無理に上限いっぱいまで開放すると、座板がシャッターケースやまぐさにあたり、故障や破損をするおそれがあります。また、閉鎖するときも下げすぎないようにしてください。故障の原因となります。
- 操作終了後は、操作用具をもとの状態に戻してください。なお、ハンドル式の場合は、開閉機からハンドルを取り外さないでください。
- シャッターが全開位置以外のときに停電復帰した場合、シャッターを「閉」操作できなくなることがあります。一度、シャッターを全開にしてから「閉」操作を行ってください。

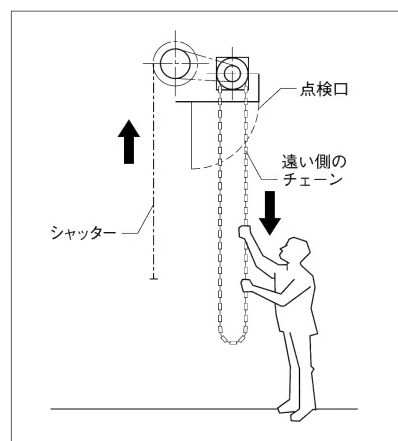
■チェーン式の場合

シャッターを開放するとき

- (1) 点検口を開けてください。※チェーンの落下に気をつけてください。
- (2) チェーンを伸ばし、シャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが上昇します。※シャッターから近い側のチェーンは引かないでください。故障の原因になります。
- (3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、それ以上チェーンを引かないでください。

シャッターを閉鎖するとき

- (1) 点検口を開けてください。※チェーンの落下に気をつけてください。
- (2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
- (3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。



■ハンドル式の場合

シャッターを開放するとき

- (1) 点検口を開けてください。
- (2) ハンドルとシャッターの位置を確認してください。
【ハンドル側から見てシャッターが左にあるとき】（本図）
：ハンドルを右に回してください。シャッターが上昇します。
【ハンドル側から見てシャッターが右にあるとき】
：ハンドルを左に回してください。シャッターが上昇します。
※点検口の枠に手が当たらないよう、注意してハンドルを回してください。
※ハンドルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。
- (3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、それ以上ハンドルを回さないでください。

シャッターを閉鎖するとき

- (1) 点検口を開けてください。
- (2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
※ブレーキ解放ひもはチェーン式と共通です。
- (3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。

